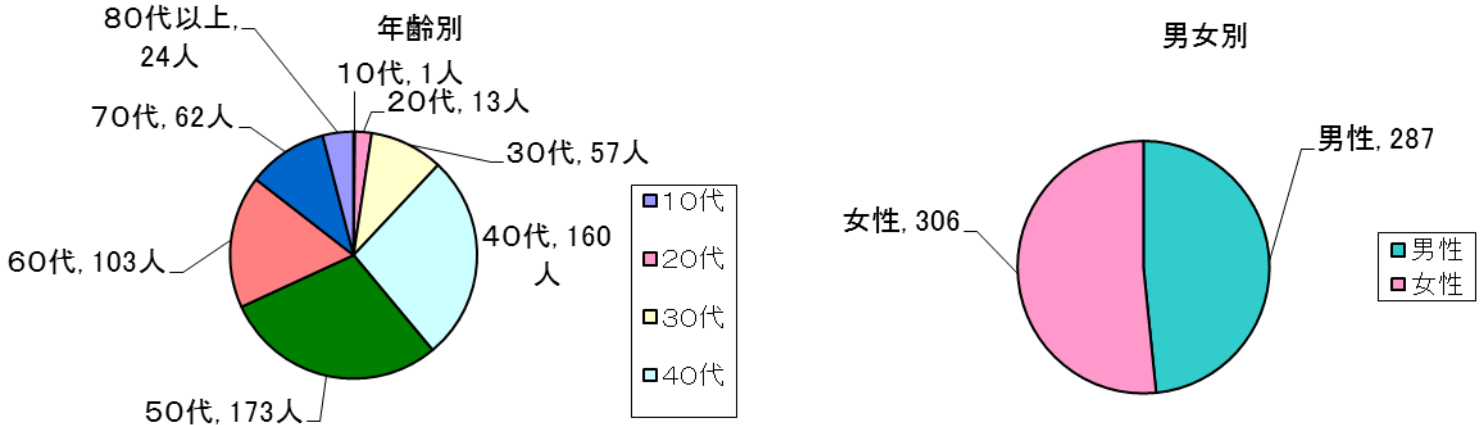


# Uモニ アンケート集計結果

第 130 回のテーマは、【認知症のイメージに関するアンケート】でした。

- ◎ 登録者数 1,118 人
- ◎ 実施期間 令和 3 年 4 月 21 日(水)～4 月 27 日(火)
- ◎ 回答者数(回答率) 593 人(53.0%)



## 問 1. 認知症の方と接したことがありますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 1. 認知症の方と接したことがありますか。	1.ある	340	593	57%	
	2.ない	200		34%	
	3.わからない	53		9%	

認知症の方と接したことがあると回答したモニターは 57%、接したことがないと回答したモニターは 34%となりました。

## 問 2. どのような場面で認知症の方と接しましたか。【複数選択可】

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 2. どのような場面で認知症の方と接しましたか。【複数選択可】	1.家族の中に認知症の人がいる(いた)	176	340	52%	
	2.親戚の中に認知症の人がいる(いた)	108		32%	
	3.近所付き合いの中で認知症の人と接した	57		17%	
	4.外出先などで、たまたま認知症の人を見かけた	39		11%	
	5.医療・介護の現場以外の仕事を通じて	30		9%	
	6.医療・介護の現場で働いている(いた)	30		9%	
	7.その他	18		5%	

認知症の方と接したことがあると回答したモニターのうち、家族の中に認知症の人がいる(いた)と回答したモニターが 52%と最も多く、次に親戚の中に認知症の人がいる(いた)と回答したモニターは 32%、近所づきあいの中で認知症の人と接したと回答したモニターは 17%となりました。

## 問 3. 認知症に対するイメージを3つまで教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 3. 認知症に対するイメージを3つまで教えてください。	1.物忘れとは異なり、日常生活に支障をきたす	444	593	75%	
	2.外出先から自宅へ帰れなくなってしまう	241		41%	
	3.何もわからなくなってしまう	110		19%	
	4.怒りっぽくなり、暴力・暴言が多くなる	192		32%	
	5.介護施設でサポートを受けながら暮らす必要がある	100		17%	
	6.仕事が継続できなくなる	48		8%	
	7.介護する人の負担が大きい	353		60%	
	8.治療や生活環境によって症状の進行がゆるやかになり、地域での生活を長く続けられる	111		19%	
	9.生活の工夫をしたりサポートがあれば、自分の趣味や仕事を継続できる	86		15%	
	10.わからない	5		1%	
	11.その他	7		1%	

認知症に対するイメージについて、物忘れとは異なり、日常生活に支障をきたすと回答したモニターが75%と最も多く、次に介護する人の負担が大きいと回答したモニターが60%、以下外出先から自宅へ帰れなくなってしまうが41%、怒りっぽくなり暴力・暴言が多くなるが32%となりました。

**問4. 軽度から中等度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。**

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問4. 軽度から中等度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。	1.自宅	437	593	74%	
	2.介護施設	114		19%	
	3.医療機関	5		1%	
	4.わからない	35		6%	
	5.その他	2		0%	

軽度から中等度の認知症の方が暮らす場所のイメージは、自宅と回答したモニターが74%、介護施設と回答したモニターが19%と、多くのモニターが、軽度から中等度の認知症の方は自宅で暮らすイメージを持っていることがわかりました。

**問5. 中等度から重度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。**

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問5. 中等度から重度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。	1.自宅	58	593	10%	
	2.介護施設	448		76%	
	3.医療機関	49		8%	
	4.わからない	35		6%	
	5.その他	3		1%	

中等度から重度の認知症の方が暮らす場所のイメージは、介護施設と回答したモニターが76%、自宅と回答したモニターが10%と、多くのモニターが中等度から重度の認知症の方は介護施設で暮らすイメージを持っていることがわかりました。

**問6. あなたが認知症になった場合、どのように暮らしたいと思いますか。**

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問6. あなたが認知症になった場合、どのように暮らしたいと思いますか。	1.認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	88	593	15%	
	2.認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	182		31%	
	3.認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	66		11%	
	4.認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	200		34%	
	5.認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい	19		3%	
	6.わからない	29		5%	
	7.その他	9		2%	

自分が認知症になった場合の暮らし方については、認知症になると周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたいと回答したモニターが34%、認知症になっても医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたいと回答したモニターは31%となりました。認知症になったときに暮らしたい場所の希望として、地域・介護施設それぞれ同程度の割合であることがわかりました。

**問7. あなたが認知症になった場合、周囲に自分が認知症であることを伝えたいと思いますか。**

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問7. あなたが認知症になった場合、周囲に自分が認知症であることを伝えたいと思いますか。	1.伝えてもよい	438	593	74%	
	2.伝えたくない	49		8%	
	3.わからない	106		18%	

自分が認知症になった場合、周囲に認知症であることを伝えても良いと回答したモニターは74%と最も多く、次にわからないと回答したモニターが18%、伝えたくないが8%となりました。

問8. 問7で「伝えたくない」と回答した理由で最も当てはまるものを1つ教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問8. 問7で「伝えたくない」と回答した理由で最も当てはまるものを1つ教えてください。	1. 恥ずかしい	9	49	18%	
	2. 世間体が気になる	8		16%	
	3. 周囲に迷惑がかかる	21		43%	
	4. わからない	5		10%	
	5. その他	6		12%	

認知症であることを伝えたくないと回答したモニターの理由では、周囲に迷惑がかかると回答したモニターが43%と最も多く、次に恥ずかしいと回答したモニターが18%、世間体が気になるが16%となりました。

問9. 周りの人の接し方によって、認知症の症状が改善したり悪化したりすることをご存じですか。

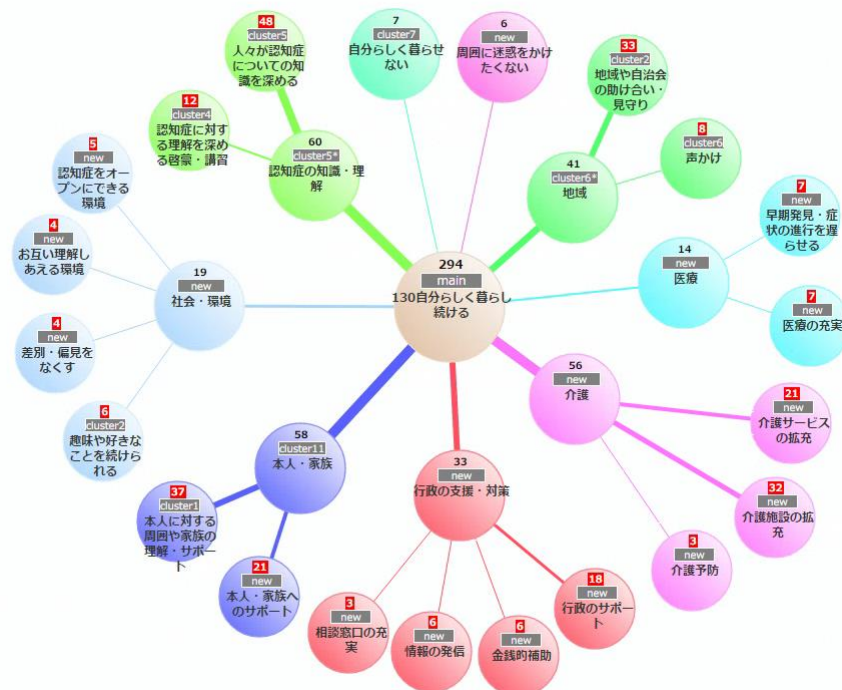
設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問9. 周りの人の接し方によって、認知症の症状が改善したり悪化したりすることをご存じですか。	1. 知っている	385	593	65%	
	2. 知らない	208		35%	

周囲の接し方によって、認知症の症状が改善したり悪化したりすることを知っていると回答したモニターは65%であるのに対し、知らないと回答したモニターは35%となりました。モニターの過半数が、周りの人の接し方によって認知症の症状が改善したり悪化したりすることを知っていることが分かりました。

問10. あなたは認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域にするために、どんなことが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問10. あなたは認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域にするために、どんなことが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。	回答あり	365	365	62%	

認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域づくりに関するご意見は、593人中365人(62%)のモニターからいただきました。



認知症の方が自分らしく暮らし続けるには、「周囲のサポートが必要」、「社会が認知症の知識・理解を深める必要がある」等の意見が多く見られました。

また、介護施設の拡充や医療の充実を求める意見も散見されました。

一方で「自分らしく暮らすことはできない」「周囲に迷惑をかけたくない」等の意見もありました。

## まとめ

今回のアンケートでは、認知症に対しネガティブなイメージを持っている方もいましたが、多くの方は認知症になっても暮らしやすいまちづくりについて関心を持っていることがわかりました。いただいたご意見を参考とさせていただき、今後の認知症施策を検討していきます。

今後も、「Uモ二」へのご協力をお願いします。